

スイートピーの花弁に散布可能な灰色かび病有効薬剤の検討

農業研究部・花きグループ

1. 研究の背景

スイートピーの灰色かび病に対する登録農薬はなく、花き類登録の薬剤は薬害や汚れに関する情報が少ない。薬効、薬害、汚れを評価し、開花期に使用できる薬剤を検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

花弁、がく等に液剤を散布すると、薬液の付着がよい展着剤は展着剤だけで薬害を生じた（表1）。薬害を生じなかったクミテンを展着剤として用い、表2の薬剤を県オリジナル選抜系統「12×9-1」（濃紫）の花弁に散布した結果、供試したすべての薬剤で薬害または汚れが認められた（表2）。花弁の灰色かび病に対してアフエットフロアブルは高い防除効果が認められた（表2）。花色の薄いダイアナピンクに散布した試験では、ポリオキシシンAL水溶剤、アフエットフロアブル、セイビアーフロアブルの薬害・汚れは認められなかった（2021、データ省略）。実用性の高い薬剤は選定されなかったが、花色の薄い品種では花弁に散布できる可能性が示唆された。

表1 スイートピー（ダイアナ）に対する各種展着剤の薬害（2021）

展着剤商品名	登録 mL/10a	供試濃度	薬害		薬液の付着 (達観)
			がく	花弁	
1 まくびか	1~3.3	3,000倍	++	+	◎
2 ミックスパワー	3.3	3,000倍	++	++	◎
3 ブレイクスルー	1~2	5,000倍	++	+	◎
4 マイリノー	0.5~1、1~2	5,000倍	-	-	△（はじく）
5 ワイドコート	1~3.3	3,000倍	++	++	◎
6 アドミックス	1~2、2~4	5,000倍	++	+	◎
7 クミテン	1~3	3,300倍	-	-	○
8 無散布					

表2 スイートピー花弁の灰色かび病に対する各種薬剤の防除効果、薬害・汚れ

供試薬剤	未発病	白斑	灰色かび病	計	白斑花率 (%)	灰色かび病	薬害	汚れ	油状でかり
	花数	花数	発病花数			発病花率 (%)			
ポリオキシシンAL水溶剤	0	0	25	25	0	100	+	-	+
ポリバリン水和剤	5	0	34	39	0	87.2	++	+	+
ゲッター水和剤	2	1	33	36	2.8	91.7	+	++	-
フルピカフロアブル	1	3	30	34	8.8	88.2	-	+	+
セイビアーフロアブル	1	37	0	38	97.4	0	-	+	+
アフエットフロアブル	34	2	2	38	5.3	5.3	+	+	+
ファンタジスタ顆粒水和剤	2	33	0	35	94.3	0	+	-	+
ピクシオDF	4	0	36	40	0	90	-	+	+
サンヨール乳剤	3	0	29	32	0	90.6	+	-	-
無処理区	0	0	28	28	0	100			

注 白斑：灰色かび病菌の分生子が発芽、侵入して白斑を生じ、拡大しなかったもの
灰色かび病：灰色かび病に感染して病斑が拡大し花弁が腐敗したもの

3. 期待される効果

スイートピーの灰色かび病に対する有効薬剤の選定、薬害や汚れのリスクとして指導に資することができる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 花きグループ
TEL 0977-66-4706 FAX 0977-67-5218 住所 別府市大字鶴見710-1